



# 学校だより 9 月

(URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/arai/>)

## 寄り添って

こうちよう すずき ゆかり  
校長 鈴木 由香里



校庭にどんぐり（マテバシイの実）が落ち始めました。まだまだ暑い日々が続いていますが、季節は確実に秋に近づいているようです。子どもたちは、本来ならば8月27日が夏休み明けの登校となるはずでした。しかし臨時休業となり、本日1日による登校。明日から13日までは分散登校・短縮授業となります。保護者の皆様には、コロナ感染状況の悪化に伴い、市の方針が二転三転したため、学校再開のため

のメール配信が数多くなってしまうこととお詫びいたします。またロイロノートによる健康観察の提出やネット環境の整備にご協力いただいたことに感謝申し上げます。

学校が通常通りの授業を行えるまでには、まだ時間がかかりそうです。予定されていた行事や学習活動は、中止や変更になることも考えられます。私たち教職員は、引き続き感染拡大防止対策をとりながら学習体制を整えております。子どもとの身体的距離を縮めることはできませんが、心の距離は縮めて、寄り添いながら子どもたちが安心して学校生活を送れるよう日々の授業を行ってまいります。心配なことがありましたらいつでも学校へご相談ください。

コロナ禍で実施の可否が問われたオリンピックでしたが、いざ始まってみると選手の活躍が多く感動を呼び、勇気づけられるものがありました。私はせっかくの休みも外出することがままならず、家のテレビでオリンピックを見続ける日々となりました。多くの皆様も同じだったのではないのでしょうか。選手の活躍と大会関係者の選手への寄り添いに胸が熱くなりました。そして現在行われているパラリンピックも同様です。恥ずかしながら今回のパラリンピックで初めて知ったことがあります。「パラリンピックの父」と言われるドイツのルートヴィヒ・グットマン博士のことで、説明は省きますが、彼の言葉「失ったものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ」という言葉が心に響きました。言葉通りの姿を、選手の皆さんが見せてくださっていることで、やればできる、けっして諦めないという強い信念をもつことの大切さを改めて思いました。

夏休み前の出来事ですが嬉しいことがありました。本校にはメダカを飼っている池があります。この池の管理は、生き物好きの職員が長年にわたって自主的に管理を行っていました。しかしその職員が異動したために管理が行き届かなくなっていた現状がありました。それに気づいた6年生数名が校長室を訪ねてきて、「自分たちに池の管理をやらせてほしい、手伝いたい。」と申し出てくれたのです。学校のためにできることを考え、行動に移してくれたことがとても嬉しく、頼もしく感じました。自分たちの学校を大事に思う心・生き物の命を大切にする心が育っていることが感じられる出来事でした。

コロナによる不安な生活が続きますが、大人も子どもも周りの人や物事に寄り添って自分何ができるかを考え、協力しながら学校生活を送っていきたくと思います。引き続き、学校への温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。